

遠心分離中の試料の注入・抽出が可能な シリンジ型全自動遠心分離機 『Separator ONE』

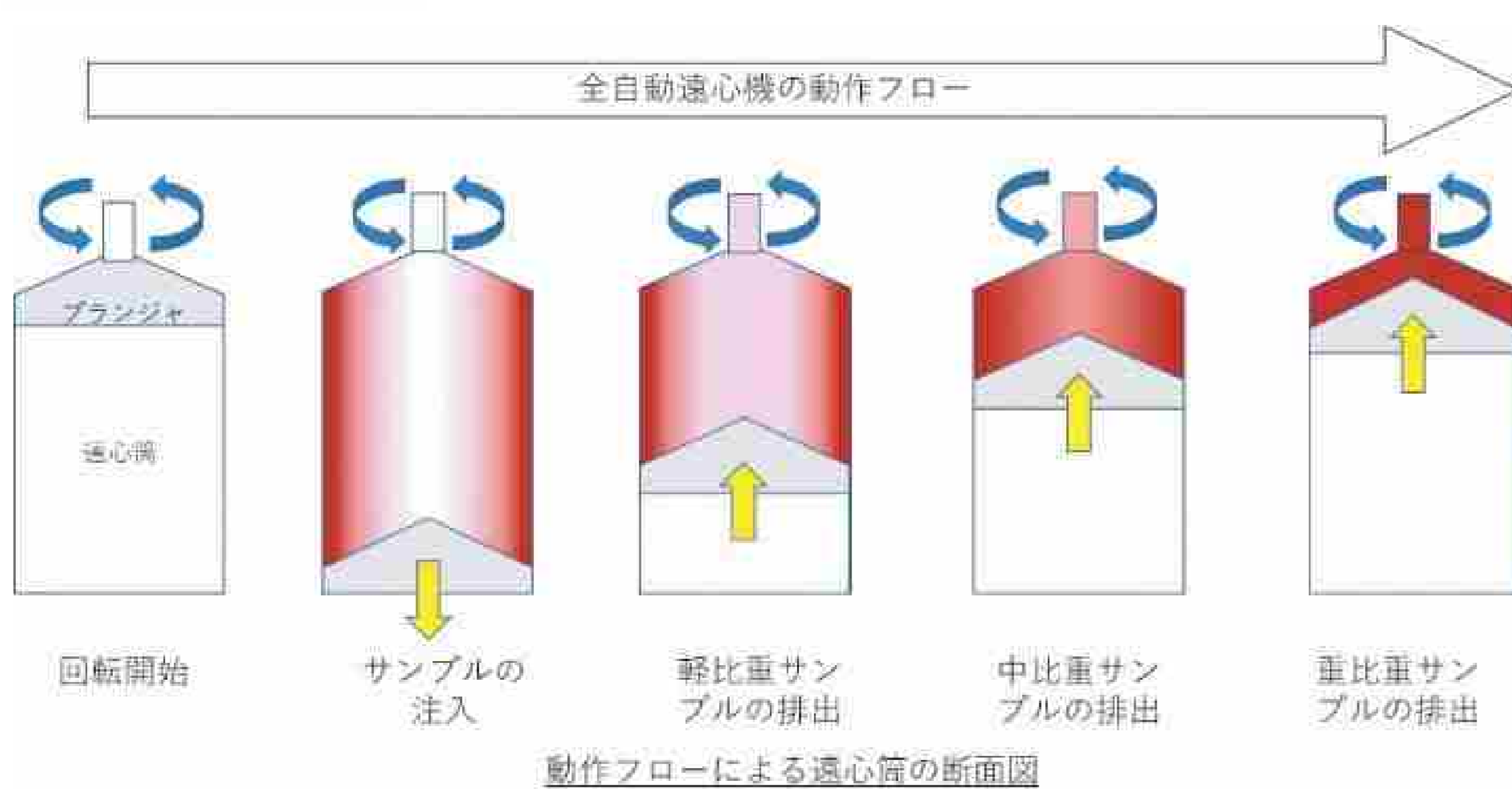


三井電気精機株式会社

開発経緯

- 2010年沖縄県において先端医療産業化研究開発事業に参加し、山口大学で行われている肝臓修復治療（ABMi療法）を沖縄県の民間病院で実施する為、感染対策に対応した乾熱滅菌が可能な遠心分離機を開発を行った。
- 事業完了後に事業参加者よりディスポ型（使い捨て）の遠心分離機のニーズがあったが当時は開発まで至らなかった。
- 2016年に医療機器ニーズ発表会にて同様のニーズ発表があり、千葉県中小企業・小規模企業連携支援事業にて研究開発を実施、本製品『Separator ONE』を開発した。

動作原理



特徴

- 遠心分離中に試料の抽出が可能
- 遠心分離中に別試料の注入が可能
- ディスポ型シリンジ遠心管により使い捨てが可能となり感染リスクがない
- 閉鎖状態での遠心分離が可能
- チャンバー内を過酸化水素水等で除染可能

用途

- 細胞分離、濃縮
- 液体の遠心分離、濃縮、反応、脱泡
- 連続遠心分離処理

